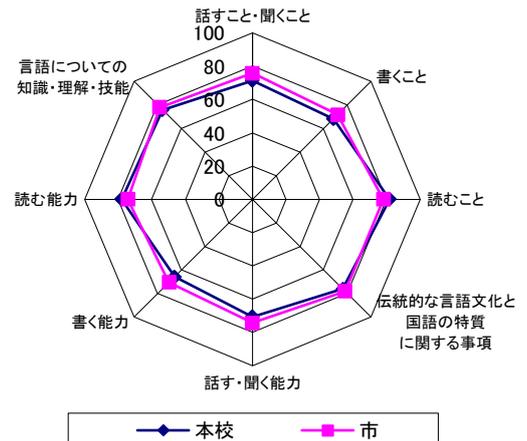


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	71.3	75.9	71.7
	書くこと	68.3	71.8	73.2
	読むこと	81.7	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	70.6	74.2	70.8
	書く能力	65.7	70.4	71.0
	読む能力	77.9	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	76.1	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を約5ポイント下回っている。 話し手の意図や工夫を考えながら、話し合いの内容を聞くことはできている。 司会者の役割を理解し、テーマに沿って話し合いを進めることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた話し合いの進め方のマニュアルを提示し、見通しをもって主体的に話し合いに参加できるようにする。 「話し方、聞き方のポイント」を示し、自分の考えを明確に伝えたり、相手の考えを正確に理解したりできるようにする。 話し合い活動では、司会を輪番制にするなどすべての児童に司会者を体験させ、その役割を理解させるとともにスムーズに話し合いを進行できるようにする。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を約5ポイント下回っている。 与えられた情報を読み取り、必要な内容を書き加えたり、訂正したりすることはできる。 指定された分量や内容、段落構成で文章を書くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題作文などの学習では、書く内容に合った構成メモを作成し、段落のまとまりに気を付けながら書くことができるようにする。 国語の授業以外でも日記指導などを取り入れ、自分の考えを分かりやすく表現する練習を繰り返し行う。 総合的な学習の時間等において、必要な情報を集め、分かりやすくまとめる活動を意識的に取り入れる。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を約4ポイント上回っている。 物語文においては、場面の描写や登場人物の心情を文章に即して正確に読み取ることができる。 説明文においては、段落相互の関係を考えながら内容を読み取ることがやや苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の学習では、繰り返し出てくる重要語句や筆者の考えが読み取れる文に着目し、段落相互の関係を考えながら内容を読み取れるようにする。 読書を奨励し、いろいろな分野の本を進んで読むように指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。 漢字の読み書きは、正答率がほぼ宇都宮市の平均と同じ値を示している。 謙譲語や尊敬語などの敬語の使い方について、理解度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きの練習を継続的に行う。 朝の学習や読書の時間などに、読書や朗読・暗唱等に計画的に取り組み、言語活動の充実を図る。 日常生活の場面を捉えて、目上の人に対する言葉づかいや公共の場での話し方について、具体的に指導する。